

専任教員教育研究業績

平成29年5月10日 記入

氏名	ふりがな	所属学科	職 位	性別
福田 明子	ふくだ あきこ	保育学科 通信教育課程	教授・ 准教授 ・講師・助教	男・ 女

小田原短期大学における担当科目名

音楽表現 IA、音楽表現 IB、音楽表現 II、音楽表現 III

学 歴

和暦(西暦)年 月	事 項	学位
昭和59年4月	大阪音楽大学 音楽学部 器楽学科 器楽専攻(ピアノ) 入学	
昭和63年3月	大阪音楽大学 音楽学部 器楽学科 器楽専攻(ピアノ) 卒業	音楽学士
平成元年9月	米国 Manhattan School of Music 大学院 器楽専攻(ピアノ) 入学	
平成3年5月	米国 Manhattan School of Music 大学院 器楽専攻(ピアノ) 卒業	M.M.(音楽修士)
平成5年8月	米国 University of Kansas 大学院 音楽学部特別専攻科(ピアノ) 入学	
平成6年8月	米国 University of Kansas 大学院 音楽学部 器楽専攻(ピアノ) 入学	
平成16年12月	米国 University of Kansas 大学院 音楽学部 器楽専攻(ピアノ) 卒業	D.M.A.(音楽芸術博士)

教 育 歴 ・ 職 歴

名 称	期 間	教育内容又は業務内容
University of Kansas 人文学部東洋言語・文化学科	平成6年8月～平成10年8月	Teaching Assistant 「日本語初級クラス」担当
島根県立大学 総合政策学部	平成14年10月～平成14年12月	非常勤講師 「Reading」「Writing」担当
島根県立大学 総合政策学部	平成17年4月～平成18年3月	非常勤講師 「Media English」「Reading」「Writing」担当
国立病院機構浜田医療センター附属看護学校	平成17年4月～平成22年3月	非常勤講師 「英語」担当
龍谷大学 学部共通英語コミュニケーションコース	平成24年4月～平成26年3月	非常勤講師 「Oral Communication I」「Oral Communication II」「アメリカ音楽史」担当
大和大学教育学部	平成26年4月～現在に至る	非常勤講師 「初等音楽 I (ピアノ・音楽理論・身体表現・合唱・合奏)」「初等音楽 II (ピアノ・音楽理論・身体表現・合唱・合奏)」担当
大阪外語専門学校	平成27年4月～平成28年3月	非常勤講師 「Listening」「Writing」「English structure」「異文化間コミュニケーション」「英語で紹介する日本」「時事英語」「TOEIC」「英検」
小田原短期大学通信教育過程	平成28年4月～現在に至る	特任准教授 「音楽表現 IA」、「音楽表現 IB」、「音楽表現 II」、「音楽表現 III」

所 属 学 会 等

名 称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)
The College Music Society	平成13年～平成17年	研究活動、学会発表
日本ダルクローズ音楽教育学会	平成27年～現在に至る	研究活動

日本学校音楽教育実践学会	平成27年～現在に至る	研究活動		
日本保育者養成教育学会	平成28年～現在に至る	研究活動		
社 会 活 動 等				
名 称	活動期間	活 動 内 容		
英語リトミック	平成27年4月～現在に至る	ECC オープンスクエアにおいて、2～5歳児への英語リトミック体験講座		
親子リトミックワークショップ	平成28年10月	兵庫県の明南保育園において保護者主催のフェスティバルで親子リトミックを指導		
リトミック指導	平成29年2月	兵庫県の明南保育園において5歳児のリトミック指導		
担 当 教 科 目 に 関 す る 資 格 ・ 免 許 等				
名 称	取得年月	取 得 機 関		
実用英語技能試験 1級	平成23年7月	日本英語検定協会		
リトミック講師資格 デイプロマA	平成29年3月	リトミック研究センター		
研究実績に関する事項				
代表的な著書、論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概 要
(博士論文) A Search for Identity: Postmodern Trends in Japanese Piano Music since 1985	単著	平成16年12月	Graduate School of Music, University of Kansas	1970年後半に日本へもポストモダン音楽が現れ始めた。その中でも特に1985年以降に顕著になるピアノ音楽におけるポストモダニズムに焦点をあて、そのメインストリームとなる3つのトレンドについて言及するとともに、その後における世界的音楽事情を予見する。
(学術論文) 乳幼児を対象とした親子リトミックワークショップの事例研究	共著	平成29年4月	小田原短期大学	小田原短期大学研究紀要第47号(2017年4月)143-153 乳幼児を対象とした親子リトミックを行い、1回のみで楽しむためのリトミック実践ではどのような「楽しさ」が求められているのか、またそのような1回完結型ならではの特性と限界について質的、量的調査から明らかにすることができた。
(研究ノート) 保育者養成課程のスクーリング「音楽	共著	平成29年4月	小田原短期大学	小田原短期大学研究紀要第47号(2017年4月)218-119 保育者の「弾き歌い」には、幼児の「多様な表現を認める聴く力」と、「多様な表現を発展させる、音楽の枠を超えた幅広い技能」が含まれる、という「弾き歌い」の技能修得の目標が文献研究から明らかになったが、スクーリングという短期間の授業で修得する技能は限られてくる。 本来、このような技能を身に付けるには長期に渡る指導と学習が不可欠である。従って本研究ではスクーリング「音楽表現」において、楽曲を多角的なアプローチで学ぶフォルマシオン・ミュージカルの理念を基盤とした短期型の授業実践を行い、短期間の修得で最大限の学習効果を得ることを目指した。そして、その教授法による受講生への学習効果を測るため、受講生に対して事前・事後アンケート調査を実施し、統計学的手

				法を用いて分析した結果、大きな学習効果があったことを示すことができた
(学会発表) A Search for Identity: Postmodern Trends in Japanese Piano Music since 1985	単独	平成15年3月	Music of Japan Today 2003 (於 University of Maryland)	1970年後半に日本へもポストモダン音楽が現れ始めた。その中でも特に1985年以降に顕著になるピアノ音楽におけるポストモダニズムに焦点をあて、そのメインストリームとなる3つのトレンドについて言及するとともに、その後における世界的音楽事情を予見する。
Japanese Postmodern Piano Works Since 1985: Compositions of Yoshimatsu, Fujieda, and Nishimura	単独	平成16年11月	The College of Music Society 年次大会 (於 San Francisco, California)	1985年以降に現れ始めた日本のピアノ音楽におけるポストモダニズムの3つの流れを、3人の当時の若手作曲家(吉松隆、藤枝守、西村朗)に焦点を当て、それぞれの音楽を作曲学的、哲学的の両面から検証する。
(レクチャーリサイタル) ・1985年以降の日本のピアノ音楽におけるポストモダンの行方: アイデンティティーを求めて	単独	平成15年3月	みずほ楽器(島根県浜田市)	1985年以降に現れ始めた日本のピアノ音楽におけるポストモダニズムの3つの流れを、3人の当時の若手作曲家(吉松隆、藤枝守、西村朗)に焦点を当て、それぞれの音楽を作曲学的、哲学的の両面から検証し、解説・演奏する。
現代音楽の世界へようこそ	単独	平成17年5月	島根県立大学第30回アカデミックサロン	一般には難解であると思われる現代音楽を、演奏を交えて講義する。ジョン・ケージ等の前衛音楽から日本を代表する現代作曲家やポップスの例曲を取り上げ、比較・分析をした上、解説・演奏する。
公開講座「ショパン: ピアノに歌わせる作曲家」	単独	平成22年11月	リビング滋賀	ショパン生誕200年にあたり、”ピアノの詩人”と言われたショパン音楽の魅力を解説し演奏する。2部構成の講座で、前半はショパンの音楽的、作曲学的特徴を解説し、後半はショパンの生涯を追いながら曲を紹介する。
(演奏) 公開講座客演演奏	単独	平成20年6月	Casa de Musica Lisboa (ポルトガル)	Sequeira Costa 公開講座において、客演ピアニストとして演奏。
その他 (奨学金) 国際親善奨学金)	ロータリー財団	平成5年8月よりロータリー財団の親善大使として、米国カンザス大学大学院音楽学部特別専攻科に1年間在籍。現地の小学校や大学等で日本を紹介する発表、演奏等行う。		